

明石クリーンセンター有害鳥獣駆除業務委託（単価契約）特記仕様書

1 目的

本業務委託は、明石クリーンセンター敷地内に設置されているメガソーラー発電所太陽光パネルを有害鳥獣の落石による損傷防止及び近隣農地、一般廃棄物最終処分場の環境保全を目的とする。

2 委託内容

業 務 場 所：兵庫県明石市大久保町松陰1 1 3 1

業 務 内 容：明石クリーンセンター敷地内に設置されている捕獲箱に掛かった有害鳥獣の駆除、殺処分及び殺処分した有害鳥獣の指定場所^{※1}への運搬並びに数量^{※2}の管理

※1：指定場所は、明石クリーンセンター敷地内に設置された保管場所であり、詳細は、別紙参照

※2：ハシブトガラスとハシボソガラスに分けて数量管理を行うこと。

殺処分方法：炭酸ガス注入による

3 対象となる有害鳥獣

カラス

※カラス以外の鳥獣等を捕獲した場合は、委託者と協議の上、対応を決定すること。

4 予定数量

約340羽^{※1、※2}

※1：業務1回あたりの数量は、委託者と受託者の協議により決めるものとする。

※2：業務1回あたりの数量と比較して捕獲箱に掛かったカラスの数量が多い場合、委託者と受託者の協議により決定した数量を放獣すること。

5 業務従事者に求める資格

わな猟狩猟免許状

6 委託期間

委託の有効期間は、2025年（令和7年）4月1日から2026年（令和8年）3月31日までとする。

7 業務日程について

原則、毎週火曜日とするが、委託者から業務依頼を受けた際に業務を行うものとする。

なお、業務は平日の９：００～１６：００の間で行うこと

8 見積りの金額について

見積額は、１羽あたりの業務単価（税抜）とする。

9 委託料の支払いについて

業務を行った毎月ごととし、委託料の請求を受けた日から起算して３０日以内に、一括して受託者が指定する銀行口座に振り込むものとする。

10 管理と責任

（１）業務責任者

受託者は、業務責任者を定め、委託者に通知するものとする。

業務責任者は、本特記仕様書等に基づき、業務の管理を行わなければならない。

（２）業務従事者

受託者は、業務の実施に当たって業務従事者を定める場合は、その氏名その他必要な事項を委託者に提出するものとする。なお、業務従事者は、業務の遂行に必要な適切な人数とする。

業務従事者は、本特記仕様書に基づき、適正に業務を遂行しなければならない。

11 打合せ等

受託者は、業務の進行状況について定期的に打合せをするほか、委託者の求めに応じて打合せするものとする。また、業務を行う毎に委託者へ当日の業務実績を報告すること。

業務責任者は、仕様書に定めのない事項について疑義が生じた場合は、速やかに委託者と協議するものとする。

12 損害賠償責任

受託者は、業務の実施にあたり受託者の責による、捕獲箱の破損及び汚損等や明石クリーンセンター敷地内の建築物の破損及び汚損等を発生させた場合、また、パッカー車や自己搬入車両との接触事故や人的被害を発生させた場合は、受託者の責任で原状回復及び損害賠償等の対応を行うこと。

13 権利義務の譲渡等の禁止

受託者は、この契約によって生ずる権利または義務を第三者に譲渡し、または継承させてはならない。

14 再委託の禁止

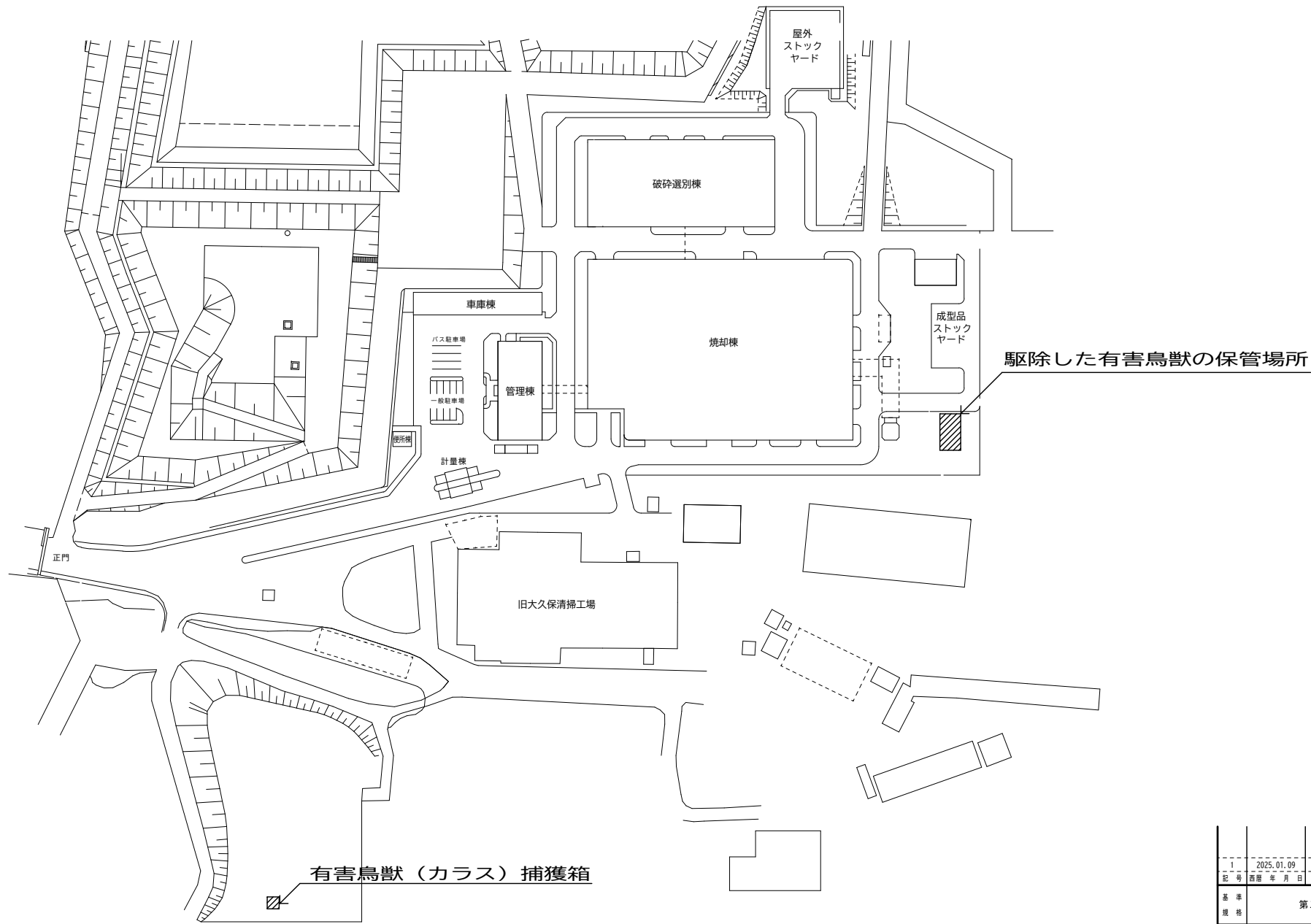
受託者は、事前に文書にて委託者に承諾を得た場合を除き、委託業務を第三者に委託し、又は請け負わせてはならない。

15 提出書類

- (1) 業務責任者選任届（様式第4号）
- (2) 業務従事者名簿（様式第1号）
- (3) 鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可申請書（様式第2号）
- (4) わな猟狩猟免状の写し
- (5) 月間業務報告書（任意様式）
 - ア 月間業務報告書に記載する内容
 - （ア）業務を行った年月日
 - （イ）業務従事者の氏名、委託者の立会者の氏名
 - （ウ）業務を行った月のハシブトガラス、ハシボソガラスそれぞれの数量及び合計数量
 - （エ）累計数量
 - イ 月間業務報告書の提出期日
業務を行った月の翌月10日までに提出すること
- (6) 有害鳥獣捕獲活動報告書（様式第5号）
 - ア 有害鳥獣捕獲活動報告書の提出期日
本業務委託完了後、速やかに提出すること
- (7) その他委託者から提出を求められた書類

16 その他

- (1) 委託者からの捕獲依頼は、受託者が選任する業務責任者が受けるものとする。
（「業務責任者選任届」 様式第4号）
- (2) 業務に要する消耗品費、交通費等は、受託者の負担とする。
- (3) 業務は、狩猟期間の内外にかかわらず同様に取り扱う。
- (4) 本仕様書に定めのない事項については、双方の協議の上定めるものとする。



概要図 (S=1/1500)

1	2025.01.09	明石クリーンセンター有害鳥獣駆除業務委託		
記号	西暦 年 月 日	記 事		作 図 一 設 計 者
基 準 規 格	第三角法		用 途	発注用
図面名称	概要図		事 業	廃棄物処理事業
			区 域	
図 面 番 号	1		場 所	明石クリーンセンター
			施 設	
縮 尺	non		原図サイズ	
			A3	
明石市廃棄物処理施設図面			原図管理 明 石 市 TEL 078-918-5792	

(様式第 4 号)

令和 7 年 月 日

明石市長 丸谷 聡子 様

受託者名

業務責任者選任届

明石クリーンセンター有害鳥獣駆除業務委託における業務選任者について、
下記のとおり報告します。

業務責任者	
-------	--

(様式第1号)

[illegible]

(様式第 2 号) 表面

令和 年 月 日

明石市長 様

住 所 (備考) 2 参照	(〒) 電話番号 ()
氏 名 (備考) 3 参照	*代表者
職 業	
生年月日	年 月 日生

鳥 獣 の 捕 獲 等 及 び 鳥 類 の 卵 の 採 取 等 の 許 可 申 請 書

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律第 9 条第 2 項の規定（同法第 9 条第 8 項及び同法施行規則第 7 条第 7 項）*の規定により、鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可を受けたいので、以下により申請します。

捕獲等しようとする鳥獣又は採取等しようとする鳥獣の卵の種類及び数量	(備考) 4 参照
捕 獲 等 又 は 採 取 等 の 目 的	(備考) 5 参照
捕 獲 等 又 は 採 取 等 の 期 間	令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日
捕 獲 等 又 は 採 取 等 の 区 域	(備考) 6 参照
捕 獲 等 又 は 採 取 等 の 方 法	(備考) 7 参照
捕獲等又は採取等をした後の処置	(備考) 8 参照
学術研究を目的とした場合にあっては 研 究 の 事 項 及 び 方 法	(備考) 9 参照
鳥獣保護区等において、捕獲等又は採取しようとする場合にあってはその旨	(備考) 10 参照
狩猟免許を受けている場合は当該免許の種類、免許を与えた知事名 狩猟免状の番号及び交付年月日	(備考) 11 参照
銃器を使用する場合は、銃砲所持 許 可 番 号 及 び 許 可 年 月 日	(備考) 12 参照
備 考	(備考) 15 参照

- < 添付資料 > 1 縮尺 5 万分の 1 以上の地形図（捕獲の場所を明らかにしたもの）
2 使用する捕獲用具に係るその構造、設置方法等を示す図面または写真
3 複数人が同一の目的で捕獲に携わる場合で捕獲区域や方法も同一の場合、
「鳥獣の捕獲等及び鳥獣の卵の採取等の許可申請者名簿（別紙 1）」
4 捕獲等が研究者等からの依頼による場合は、「鳥獣捕獲依頼書（別紙 2）」
5 狩猟免状の写し（手取りの場合は不要）

*法人申請で、従事者証の交付申請も同時に行う場合は（ ）を外し、それ以外の場合は（ ）内の文字を抹消すること

(様式第2号) 裏面
(備考)

1. 法人申請（当該申請において、法人申請を行うことができるものは、法第9条第8号に規定する法人（国、地方公共団体その他環境省令で定める法人）に限るものとし、従事者証を交付する場合。以下同じ。）で、従事者証の交付申請も同時に行う場合にあっては、（ ）を外し、従事者証の交付申請を同時に行わない場合若しくは個人申請の場合は（ ）内の文字を抹消すること。
2. 住所欄には、法人申請（従事者証を交付する場合）の場合以外は、所属機関の所在地ではなく、申請者本人の自宅の住所を記載すること。
3. 氏名欄には、複数人が同一の目的で捕獲に携わる場合で捕獲区域や方法も同一の場合には、氏名欄の下に「ほか○名」と人数を記入し、代表者（班長とすること）を含み「鳥獣の捕獲等及び鳥獣の卵の採取等の許可申請者名簿（別紙1）」に必要事項を記載の上、添付すること。法人申請の場合は、その法人の長の名前を記入し、従事者は従事者名簿（鳥獣の捕獲等及び鳥獣の卵の採取等の許可申請者名簿（別紙1））に必要事項を記載の上添付すること。
4. 捕獲の頭（羽・個）数は、各人別に割り振られた頭（羽・個）数を記載すること。また、1頭を共同で捕獲するような場合においては、合計○人で1頭というように記載すること。
5. 目的欄には「学研究（生態調査）」「有害鳥獣捕獲（農林水産業被害防止）」等、捕獲等をする事由を記載すること。
6. 区域欄には、都道府県、市郡、町村、大字、小字、地番（地先）等を記入し、捕獲の場所を明らかにした縮尺1:50,000以上の地形図を添付すること。
7. 方法欄には、使用する捕獲用具の名称を記入し、その構造、設置方法等を示す図面を添付すること。なお、麻酔銃を使用する場合は、使用薬名及び施用量を添付資料として記載すること。
8. 処置欄については、捕獲個体の捕獲後の処置の方法について、「計測後放鳥」、「飼養」、「飼養又は処分」、「譲渡はしない」、「標本は○頭以内」等と記入すること。
9. 研究の事項及び方法欄には、学研究を目的として捕獲等又は採取等をしようとする場合にあっては、研究の事項及び方法について、詳細に記入すること。
10. 鳥獣保護区等の記入欄には、鳥獣保護区、休猟区、公道、自然公園法第14条第1項の特別保護地区、都市計画法第4条第6項の都市計画施設である公共空地その他公衆慰楽の目的で設けられた園地であって囲い又は標識によりその区域を明示したもの、自然環境保全法第14条第1項の原生自然環境保全地域、社寺境内、墓地、銃猟禁止区域、銃猟制限地域又は猟区内において捕獲等又は採取等をしようとする場合にあっては、その旨を記載すること。
11. 狩猟免許に関する記入欄には、申請者（法人にあっては捕獲等に従事する者）が狩猟免許を現に受けている場合にあっては、当該狩猟免許の種類、当該狩猟免許を与えた都道府県知事名並びに当該狩猟免許に係る狩猟免状の番号及び交付年月日を記載すること。
12. 銃砲所持許可証番号及び交付年月日の記入欄には、銃器を使用して捕獲等をしようとする場合にあっては、当該銃器の所持について申請者（法人にあっては、捕獲等に従事する者）が現に受けている銃砲刀剣類所持等取締法第4条第1項第1号の規定に係る許可証番号及び交付年月日を記載すること。
13. 捕獲等が研究者等からの依頼による場合は、鳥獣捕獲依頼書（別紙2）を添付すること。
14. 用紙のサイズは日本工業規格A4版とすること。
15. 「備考」欄には、他の法令の規定により行政庁の許可、認可その他の処分又は届出を必要とするものについて、その法令名、適用条項及びその手続状況を記載すること。

鳥 獣 の 捕 獲 等 許 可 申 請 者 名 簿

名称	住 所	氏 名	印	職業	生年月日	保険等	前年度 狩猟者 登録番号	狩猟免許を受けている場合				銃器を使用する場合			＊ 許可番号
								狩 猟 免 許				鉄 砲 所 持 許 可 証番号	交付 年月日	銃砲の 種類	
								免許の種類	許可した 知 事 名	免許の番号	交付年月日				
班長															

＊ 欄は申請者においては記入しないでください。

(様式第 2 号 別紙 2)

令和 年 月 日

鳥獣捕獲依頼書 (有害鳥獣駆除のため)

住 所	(〒) TEL
職 業	
氏 名	
生年月日	

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律第 9 条の規定による有害鳥獣駆除のための鳥獣等の捕獲等下記により依頼します。

記

被 依 頼 者	住 所	
	職 業	
	氏 名	*代表者 *ほか 名 (別紙名簿のとおり)
	生年月日	年 月 日
依 頼 す る 理 由 (捕獲等の目的)		
捕獲等を依頼する鳥獣等の種類及び数量		
期 間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日まで	
区 域		

(注) 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 版とすること。

注： 1. ○○には、学術研究、標識調査など取扱方針の区分により記入すること。

2. 被依頼者が複数の場合は、当該申請書には代表者に係る事項を記入し、代表者以外のものについては、「鳥獣の捕獲等及び鳥獣の卵の採取等の許可申請者名簿(様式第 2 号 別紙 1)」に必要事項を記載の上、添付すること。

(様式第 5 号)

年 月 日

明石市長 丸谷 聡子 様

捕獲班

班 長

有害鳥獣捕獲活動報告書

下記のとおり有害鳥獣捕獲活動を実施したので報告します。

記

1. 捕獲許可証番号 明農振第 号
2. 捕獲活動区域 (鳥獣保護区)
(休 猟 区)
3. 活 動 日 数 計 日間
4. 活 動 人 員 のべ 人 (別紙 出勤者名簿のとおり)
5. 許可頭 (羽) 数
6. 捕獲鳥獣名及び捕獲頭 (羽) 数
(シカの場合、オス・メスを分けること)

捕獲頭 (羽) 数が 0 又は許可数に至らなかったときの主な理由
について :

7. 捕 獲 確 認 者 記 入 欄

捕 獲 鳥 獣 名			
捕 獲 頭 (羽) 数			
確 認 者	市・町	課	印
	農林水産振興事務所	課	印

- (注) 1. イノシシの場合は、写真を持参させ確認すること。
2. シカの場合は、写真又は前歯 2 本及び調査書を提出させる

(様式第 5 号 別紙)

捕獲活動出動者名簿

[illegible]

(注) 班員別に出動日に○印を、計欄に延べ日数を記入すること。